

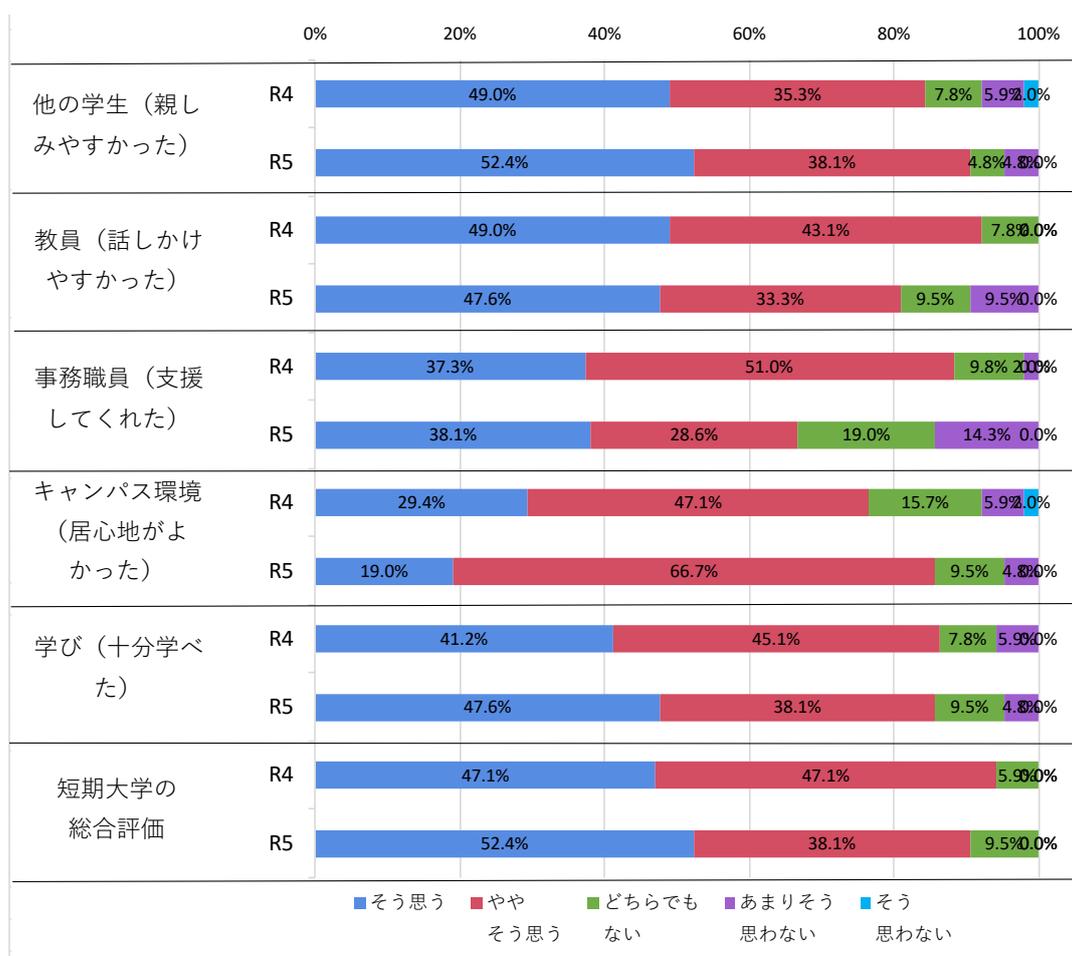
卒業生調査

本学卒業生に対し、本学での学びの満足度や学修成果、現在の就業状況、及び要望などを尋ねること、教育成果の可視化に関する情報を得ることを目的とし、実施している「卒業生調査」の経年比較分析である。

(調査対象年度・実施年度・回答率)

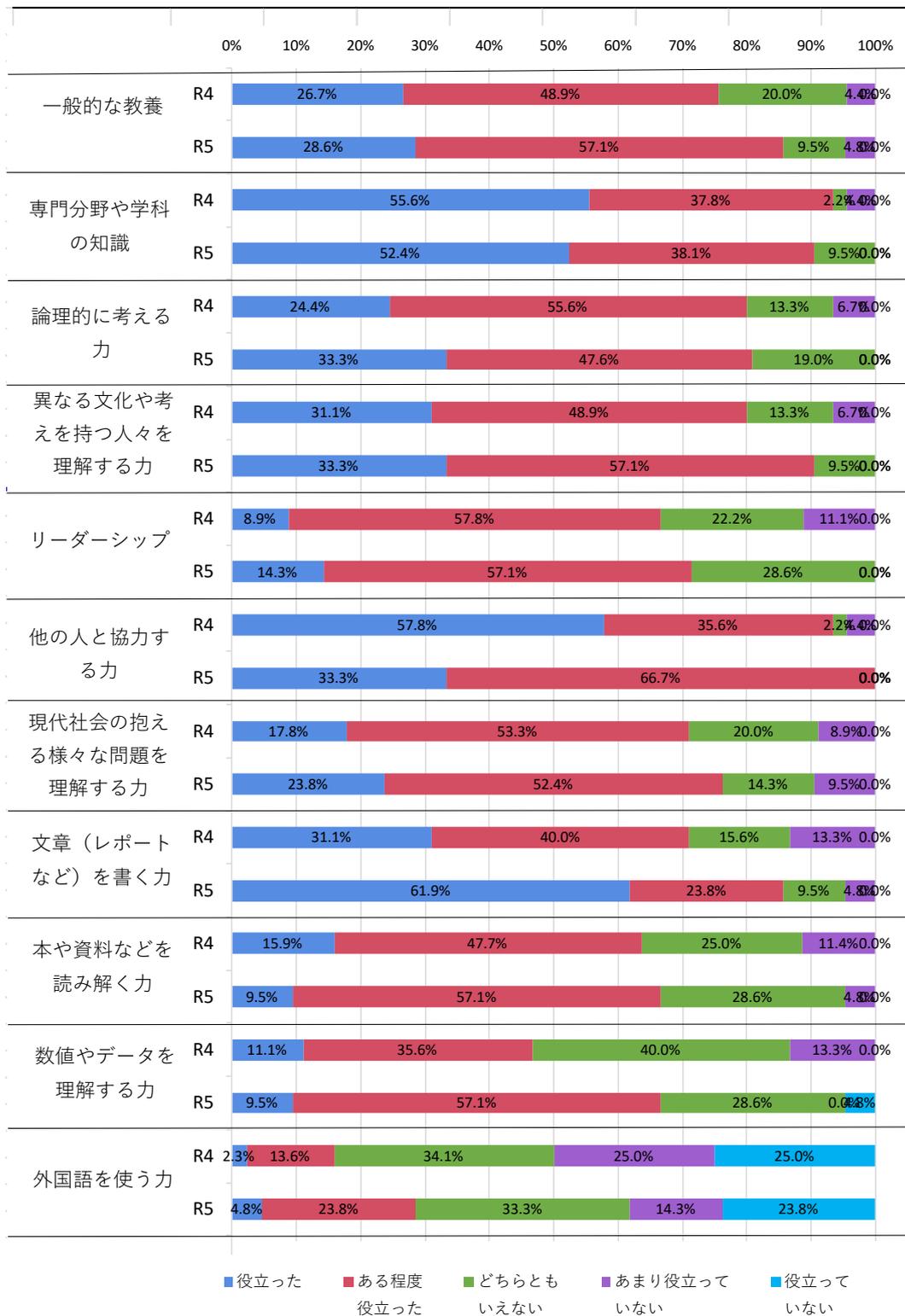
卒業学科	R4実施 (R3年度卒業生)			R5実施 (令和4年度卒業生)		
	送付数	回収(通)	回収率(%)	送付数	回収(通)	回収率(%)
幼児保育学科	119	33	28%	77	18	23%
健康栄養学科	74	18	24%	62	4	6%
合計	193	51	26%	139	22	16%

Q1.本学についての評価です。該当するものを1つ選択してください。

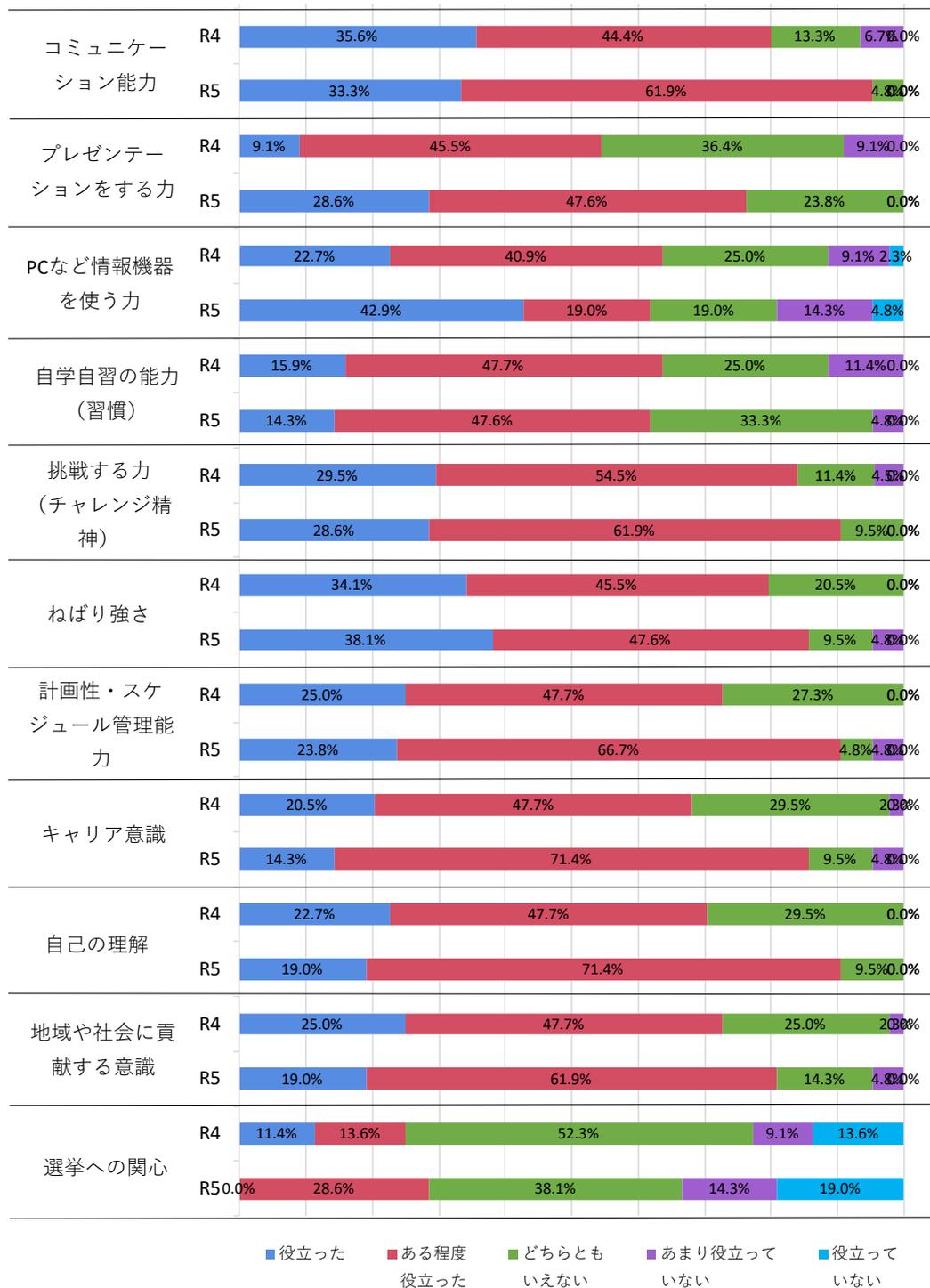


他の学生が親しみやすかったの項目でそう思うと回答した者が3.4%、学びについては6.4%の伸びがあり、総合評価においても半数以上の卒業生が高評価している。

Q2. あなたの現在の立場からみて、本学で学んだ知識や能力はどの程度役に立っていますか。該当するものをそれぞれ1つ選択してください。



役立つとの回答が最も伸びた項目は、「文章（レポートなど）を書く力」となり、2年間をかけた卒業研究、各授業での課題など学びの成果と分析する。また、他者と協力する力については、前年わずかにいた、どちらともいえない、あまり役立っていないの回答が0であった。



プレゼンテーションをする力が大きく伸びていることは、全学体制にてアクティブラーニング強化に取り組んだ成果といえる。

【本調査経年比較からの課題】

- 回答率向上:より多くの卒業生から卒業後の評価を得て教育課程・課外活動の充実に繋げる。
- キャリア意識向上:在学中に単なる就職支援にとどまらず、キャリア構築の基本となるプログラムを強化する。また、今後本学で得た学修成果の具体エピソード等を対面にて在学生に紹介する取組を増加したい。